

「魔王」に惹かれて

はじめてシューベルトの「魔王」を聴いたのはいつだったでしょう。たぶん中学校の音楽の時間、日本語での歌唱だったと思います。ピアノの激しい連打に乗って練り広げられる、父親と子供そして魔王の3者のドラマ。それは「お父さん！お父さん！」という子供の叫びとともに深く脳裏に刻まれました。ドイツリートの世界に触れた最初の体験です。

昨年夏、ジュリア・スーの演奏するベートーヴェンのソナタを聴いて、彼女とドイツリートを歌ってみたい！と思いました。その音楽はあくまで自然でしなやか。それでいて、肚の座った“広やかさ”を備えています。彼女となら、新しい角度からドイツリートの世界に遊ぶことができそうです。

モーツァルト、ベートーヴェン、シューベルト。

3人の作曲家の歌曲の世界を、ピアノ・ソナタ「告別」とともに、お楽しみください。

波多野 睦美



波多野 睦美(メゾソプラノ) Mutsumi Hatano

イギリスのトリニティ音楽大学声楽専攻科修了。シェイクスピア時代のリートソングでデビューし、時代を越える歌の魅力と可能性を示す。その後、バッハ「マタイ受難曲」、ヘンデルのオラトリオなどのソリストとして鈴木雅明、C.ホグウッド他指揮の多くのバロックオーケストラと共演。バロックからモーツァルトのオペラに出演し、深い表現力で注目される。作曲家からの厚い信頼を得て近現代の作品にも取り組み、間宮芳生作品の米国での世界初演、水戸芸術館「高橋悠治の肖像」などに出演。放送では「BSクラシック倶楽部」「NHK ニューイヤーオペラ」他。CDは「イタリア歌曲集」などの古楽器との共演作品のほか、高橋悠治とのシューベルト「冬の旅」、大萩康司(G)との映画音楽集「コーリング・ユー」他多数。



ジュリア・スー(ピアノ) Julia Hsu

まれにみる音楽性とあざやかな技術で多方面に活躍する台湾出身のピアニスト。ロンドンのロイヤル・アカデミー、シベリウス・アカデミーで学んだのち、ハノーファー音楽演劇大学で学び、最高位の演奏家ディプロマを得る。欧米にてコンサート活動を開始。2014年からピーター・ゼルキンとデュオを組み、世界主要音楽祭へ多数出演。2016年に初来日、オリバー・ナッセン指揮の東京フィルハーモニーとの共演で、高橋悠治との2台ピアノにより武満徹の「夢の引用」を演奏。ベートーヴェンの演奏をライフワークとしている。2017、18年にはサロン・テッセラの「新しい耳」音楽祭に出演、2018年には札幌・ふきのとうホールでソロリサイタル、秋には北とぴあ国際音楽祭で波多野睦美とフランス歌曲プログラムで共演し、好評を得た。

宗次ホールの情報はこちら！
フォローお待ちしております

♪ 随時
更新中です

facebook

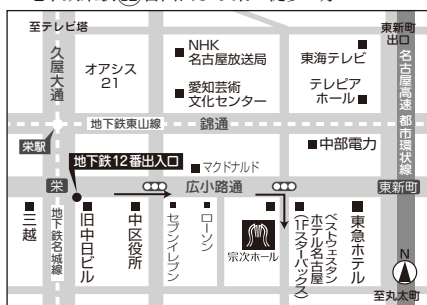


<https://www.facebook.com/munetsuguhall/>



他にも各SNSにて情報発信中！

■交通アクセス
地下鉄栄駅⑫番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック

宗次ホール
Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター
営業時間:10:00~16:00
※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業